

-Index-

英語学習（中学部の取り組み②）
音楽の指導—中学編—
「みみネット」アンケートより（抜粋）
みみよりコラム



英語学習(中学部の取り組み②)

リーディングテスト(音読テスト)

本校中学部の英語科では、学期ごとにリーディングテストを実施しています。テストの内容は、中学部の英語科教員3名の前で、教科書の本文について、手話をしながら音読するものです。個々のきこえ方に関係なく、公平に採点できるようにしています。

音読のときは、待機教室と受験教室に分かれて、抽選で決めた順番で1名ずつ受験教室に入室し、音読テストを実施します。採点基準については、単に英語の発音だけにとらわれないようにしています。また、手話と音声のどちらに重きを置くか、生徒の実態に応じて採点するようにしています。

英検の実施と対策について

本校では、準会場として英検を実施しています。回数は本会場と同じ年3回で、6月と10月と翌年の1月に英検の試験を行っています。毎回英検の実施日が近づくと、英検の過去問を解いたり、問題の解説をしたりする時間を設定しています。今年度は中学部3年生を対象に、英検3級の英語の面接試験と同じ形式で、リーディングテストを実施し、5級や4級にはなかった英語の面接試験に慣れてもらうようにしています。

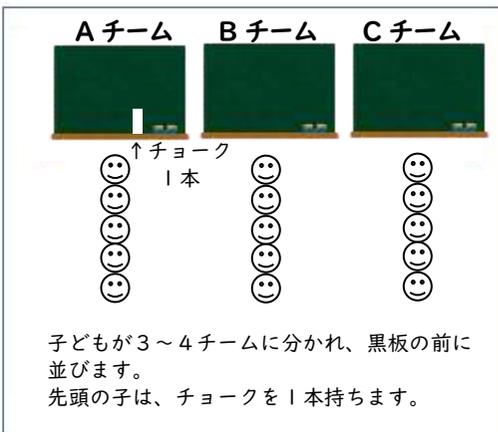
マークシートをのみの5級、4級と違い、3級からは英語の質問に25~35語で自分の考えを英語で書くライティングの問題も加わります。こちらについても、対策プリントを作成し、ライティング対策を実施する時間を設定するなど、本校の生徒が、高校入試の際、有利に働くことが多い資格である英検3級を取得できるようサポートしています。

T-NET やその他の取り組み

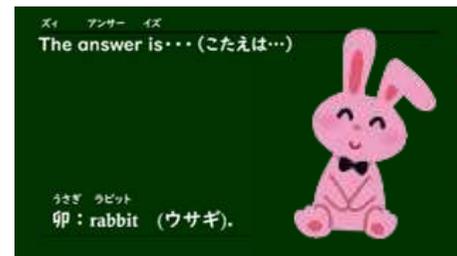
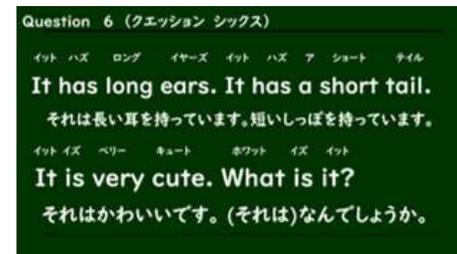
T-NET (Temporary Native English Teacher) は、外国語講師を大阪府立支援学校へ派遣する事業です。英語担当教員の英語授業の補助(ティーム・ティーチング)や児童生徒に対する個別指導(英文添削、発音指導、スピーチコンテスト・プレゼンテーション等の指導)などの業務を担っています。

本校中学部のT-NET授業の内容は、実施する時期に合わせて多岐に渡ります。講師の先生の母国の紹介や、英語のプレゼンテーションや動画と連動した工作、いくつかのグループに分かれて行う単語しりとりや単語リレー、干支に関連した英語のクイズや双六などがあります。英語学習の側面を残しつつ、講師の先生と一緒に様々な活動をして、異文化理解に努めています。また、ネイティブであることを活かして、中3のリーディングテストでは、英語で生徒に質問する面接官の役を担当していただくこともあります。

重複障がい生徒の授業では、個々の生徒の実態に合わせて、各担当が教材を準備しています。学年の枠をこえて合同授業を行うこともあれば、英語の字幕付き動画を見て、その動画と関連した折り紙や工作に取り組む時間を設定するなど、生徒が楽しく学べる授業を展開するように心がけています。



(英単語しりとり
an English word - chain)



(英語の干支当てクイズ)

大阪府下全体で実施している「チャレンジテスト」(中3は9月、中1と中2は翌年の1月)においても、英検と同様に過去問での練習や解説を行っています。

♪音楽の指導－中学編－♪♪ 続編

器楽

リコーダーはもちろん、和太鼓、ギター、鍵盤楽器、など幅広く使用しています。なじみのあるリコーダーについては、小学部で身に付けた技術をもとに、アーティキュレーションなども指導します。

楽譜モードのデジタル教科書を使用しながら、指導者はその隣で指揮と指文字を明示し、吹く音のサポートをします。教科書には「カノン」という曲が3曲あり、輪奏を完成させるには少し工夫が必要でした。



動画と編集アプリの力を借りて教材を作成し、生徒には指がスラスラ動くまで練習するように促しました。スタートの異なる動画を見ながら演奏すると、「あきらめていたけど、うまくいった!」と喜ぶ生徒も。目で見てわかる【輪奏】で、仕組みがわかると楽しかったらしく、しばらくは「今日はカノンしないの?」ということもありました。

(どなたでも検索していただける動画がありますので、詳しくはお問合せください。)

鑑賞

デジタル教科書の解説動画や YouTube を使用して、オーケストラやオペラ、実際に演奏している動画などを見ながら授業を進めます。初めに教科書やワーク、インターネットなどで調べ学習をして知識を増やします。こちらが注目してほしい箇所、自分が注目したい箇所などをチェックしてから動画を見ることで、漠然と曲に向かうのではなく、より身近にその曲を感じられるようにという工夫です。

全員「聴こえにくさ」はありますが、それぞれに楽しめる方法を探し出し、工夫しています。音楽は聴覚のみで楽しむものではなく、様々な方法で捉え、感じ、楽しむことができるものだと思っています。

「伝え方を工夫すれば、聴覚障がいがある人にも音や音楽は伝わるし、楽しめる!」と信じて、日々授業のできる工夫を模索しています。

1～3月号では、本校中学部の教員(和泉・中田)の実践をもとに、英語学習および音楽指導について掲載しました。各校での指導・支援の参考になれば幸いです。

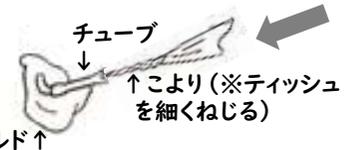
「みみネット」アンケートより(抜粋)

今年度、支援学級相談を申し込まれている先生方を対象に「みみネット」についてのアンケートを実施しました。

- ・ 高校や大学入試についての記事があり、保護者とも共有させていただきました。
- ・ 指導の方法の具体例があったり、卒業生の学びや思いにふれることができたりすることが、様々な大事なことを知るにつながっています。ありがとうございます。
- ・ いろいろな情報が分かりやすく載っていて便利だと思いました。
- ・ いつも勉強になっています。ありがとうございます。
- ・ 11月号では、支援学校の音楽の授業の様子が掲載されていた。ささいなことでも、想像できていないところが分かるのは、交流のきっかけにもなるし、とても素晴らしいです。
- ・ 聴覚に課題のある子への気付きや支援について、具体的に掲載されており、有意義でした。
- ・ なかなか考えもしない教材や教具がのっており、すごく参考になります。
- ・ 校内の研修等でも利用させていただいています。とてもわかりやすいです。

みみより★コラム

寒い日が続いています。寒い時期には、子どもたちから「補聴器の音が小さくなった」「音がきこえにくい」「補聴器が壊れてるかも」といった声がよくきかれます。その原因の多くがチューブ内の結露です。



結露については、目で見て確認することができるので、チューブ内に水滴が付着している場合には、こより(ティッシュ)等で吸水します。それでも解決できない場合には、耳垢が詰まっている、電池が消耗している、補聴器が故障している等の原因が考えられます。補聴器が故障していないのに、子どもが「音が出ない」「小さくなった」と訴える場合には、聴力が変動している可能性もあります。

補聴器のトラブルを訴えてきた場合には、考えられる原因の一つひとつ丁寧に探りながら、子どもたちと一緒に対処方法を考えていくことが大切です。

「みみネット」編集部:

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当: 中咲、金森
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31
TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800